

1. われらのはつつみのをゆえりにて主は
 2. しゅくくのさかづきんはと受けるみでち
 3. しゅくくのさかづきんはと受けるみでち
 4. しゅくくのさかづきんはと受けるみでち

いちらゆのにはえち謝主なをしのがさまあささついるげりにる→つ裂あ血みきたにのていよゆでせるるしらけしられい

をにしやああさくう→えにりけかこきいくこねやかろんくたはのをりみしたたるままさしいれなぬぬぬり」

主「こ主おのははおひわき主つれかのじのずちらかきしのをおただもこめなとそにりりはゆこみさるはちい



主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。「これは、あなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行ないなさい。」夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行ないなさい。」コリント前書 11:23-25

5

すく たみ ちしお
主は救われし民を おのが血潮をもて
きよ わかのたも
清め分ち宣う 「なれはわがものぞ」と。
みくに う つ しるし
御国を受け継ぐべき 神の民の印に
せいれいしょういん かれ おく
聖霊の証印を 彼らは贈られぬ。

6

したい
主の肢体なるわれら 讃美にみちあふれ
みづか そそ せいはい
主自ら注ぎたもう→ 聖杯にあずかり
愛と真をもって とも にぎ
共に手を握りあい
あつ ねが かんしゃ
熱き願いを神に 感謝もてささげん。

7

主の民は愛により 一つにむすばれり。
おのれ ひく とも ことば き
己を低くして 友の言葉を聞かん。
おお しゅし な ごと
多くの種子によりて パンが成れる如くに
彼らは多くあれど ひとつのからだなり。

8

えいこう
主の栄光のために 聖さんにあずかる→
しもべ ちゅうじつ き
主のまことの僕は 忠実に主に聴き
たがい あ
互にこころ合わせ 愛にて一つとなり
あらそ わか
争いと別れとは もはやたえてあらず。

9

いのち よろこ
ここには命があり 平和喜びあり
たいよう かがや
太陽なる主イエスは 心に輝けり
ちから ひと あた
愛が命にあふれ 力を人に与う
いえ さいわ なぐさ い